

欧文文字のみを含む場合は原則として半角括弧です。ただし、全体が和文の文脈のときは、全角括弧を使っても、意味的にも組版的にもそれほど違和感はありません。

(正) この化合物は酸素 (O) を含む。

(正) この化合物は酸素 (O) を含む。

和文文字を 1 文字でも含む場合は全角括弧を用います。

(誤) この化合物は酸素 (原子量 16) を含む。 ← 和文文字と半角括弧はデザインが合いません。半角括弧は j などの下に伸びた部分 (ディセンドラー) を囲むためにベースラインより下に伸びすぎるためです。

(正) この化合物は酸素 (原子量 16) を含む。

欧文文字と半角括弧が連続するときは必ず半角スペースを入れましょう。

(誤) エステル **A** は **B**(HCOOH) と **C**(CH₃OH) からなる。 ← 半角括弧と欧文文字の間が詰まりすぎです。

(正) エステル **A** は **B** (HCOOH) と **C** (CH₃OH) からなる。

半角括弧の直後にイコールが続く場合は、全体を数式とした上で、次のように手動で細かくスペーシングします。

(誤) CH₃COOH(=60) と C₂H₅OH(=46) からなる。 ← イコールの前後が詰まりすぎです。

(誤) CH₃COOH(= 60) と C₂H₅OH(= 46) からなる。 ← 括弧の部分だけをドルで囲んで数式にしても、やはりイコールの前が詰まりすぎです。

(正) CH₃COOH (= 60) と C₂H₅OH (= 46) からなる。 ← 前の部分も含めて数式のドル内に入れ、半角括弧前後は手動でスペーシングします。

不等号も等号と同様の扱いです。

(誤) $P_{\text{仮}} = 1.0 \times 10^5 \text{ Pa} (> P_{\text{飽和}})$ となるので、 ← 不等号の前が詰まりすぎです。

(正) $P_{\text{仮}} = 1.0 \times 10^5 \text{ Pa} (> P_{\text{飽和}})$ となるので、 ← 半角括弧前後は手動でスペーシングします。